



漏水防止のお仕事～計画調査～



計画調査について

漏水は、主に老朽化した水道管が腐食などの要因で破損を起こすことにより発生します。地表に噴き出す漏水や露出する管で発生する漏水は、パトロールや市民通報などから早期に発見されますが、地表に現れない漏水は発見が遅れ、時には道路陥没などの事故の要因となることもあります。また、腐食などにより漏水が発生した管路では、近くで再び漏水が発生する可能性があります。

このような潜在する漏水を防ぎ、水資源の損失防止、事故の未然防止のため、上下水道局においては、毎年職員及び漏水調査業務委託業者により市内一円を計画的に調査しております。

今回は計画調査をどのように行っているかをご紹介します。

主な漏水箇所と音聴調査箇所

① 弁栓音聴調査

消火栓、仕切弁等に音聴棒をあて、漏水音を聴きとります。離れた場所でも聴き取ることができ、漏水が発生している可能性のある地域の絞り込みを行うことができます。



仕切弁音聴



消火栓音聴



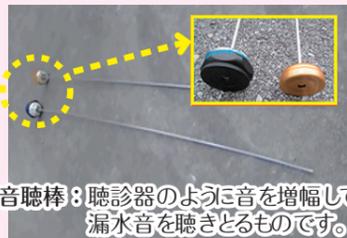
開閉時に回すバルブ等に音聴棒をあて、漏水と思われる音を聴き取ります。

② 戸別音聴調査

各家庭へ水を供給する給水管、水道メーターに音聴棒をあて漏水音を聴きとります。

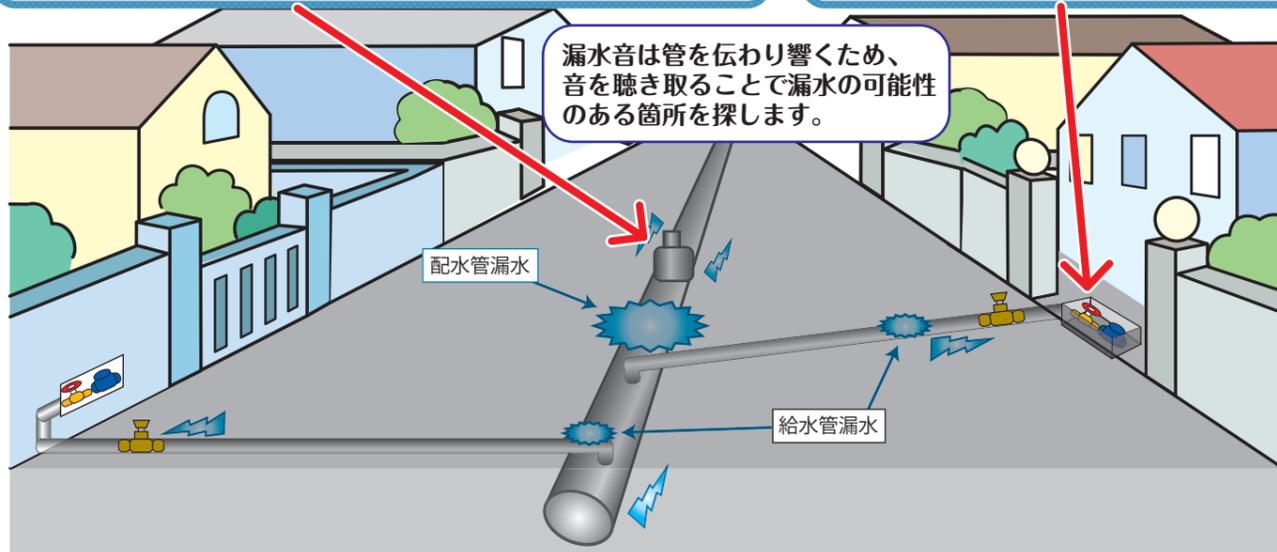


メーター音聴



音聴棒：聴診器のように音を増幅して漏水音を聴きとるものです。

漏水音は管を伝わり響くため、音を聴き取ることによって漏水の可能性のある箇所を探します。



【お問い合わせ】 管理課 TEL:941-7805

③ 確認調査

漏水の疑いのある箇所が発見された場合、位置特定のために確認調査を行います。

(1) 管理設箇所の確認

図面で管の埋設状況を確認し、鉄管探知機を使用し正確な管の位置を確認します。



本管ライン探知作業



鉄管探知機：管に磁気を帯びさせ、埋設位置の探知を行うものです。

(2) 漏水箇所の特定方法

○漏水探知機

漏水探知機を使用し、漏水音の最も大きい箇所を探し出します。

その際、ボーリングを行い漏水による溜まり水を噴出させ、噴出音の音聴及び目視確認する作業も行います。



路面音聴



漏水探知機：音聴棒より正確に漏水音をとらえるための機械です。

○相関式漏水探知機

漏水音の響く2箇所の消火栓、仕切弁に子機を設置し、それぞれから漏水音の大きな箇所を探すことにより、より正確に漏水箇所を特定することができます。



子機設置、漏水箇所測定



相関式漏水探知機

おわりに

このような調査の結果、漏水を早期に発見し修繕することができ、貴重な水資源の損失防止、漏水による道路陥没などの事故の未然防止へつなげることができます。

市民の皆様へ漏水調査へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

上下水道局では漏水調査業務を委託する際に、作業員には身分証明書の携帯を義務付けております。

調査の際にはご理解とご協力をよろしくお願い致します。



身分証明書

住所	〇〇 〇〇
氏名	〇〇 〇〇
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
有効期限	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
上記の者は那覇市上下水道局の委託を受けて、漏水調査作業に従事している者であることを証明する。	
那覇市上下水道事業管理者 上下水道局長 翁長 聡 印	

鉛給水管の取替工事等への協力依頼について

道路に埋設されている配水管から各家庭の水道管（蛇口）までの間の給水管の一部（主に水道メーターの前後など）に鉛でできた給水管が使われている場合があります。この鉛給水管中に長時間水が溜まると、ごく微量ですが水中へ鉛が溶け出すことがあります。

平成25年度末で鉛給水管の解消率は99.4%となっており、上下水道局では今後も引き続き鉛給水管取り替えに取組んでまいります。皆様のご家庭で鉛給水管の疑いがある場合は、上下水道局管理課までお電話ください。

なお、取り替えにかかる工事費用については上下水道局負担となっております。また、鉛給水管の家庭では、朝一番など長時間使用していなかった蛇口から水を使う場合、最初に給水管内に溜まっていた水（バケツ一杯程度）をしばらく出しておいて、庭木にまくなど飲用以外に利用することをおすすめします。

💧💧💧 限りある 水資源を 大切に! 💧💧💧